

## 岡部定一郎「福岡城寸描」(17)

### 1. 福岡城の構え

#### 櫓の巻5 武具櫓

福岡城の武具櫓は、東三階櫓から西三階櫓の間に連なる長屋式の二重二階の櫓で、天主台南側に面する南二の丸の庭を囲むように建てられていた。

櫓には、戦いに備えて武器が格納されていた。

大正8年(1919年)、旧黒田家別邸の浜御殿(現 浜の町)に移築されたが、昭和20年(1945年)に空襲で焼失した。

しかし、大正以前の古写真や浜御殿移築時代の古写真が残っており、外観は良く解っている。



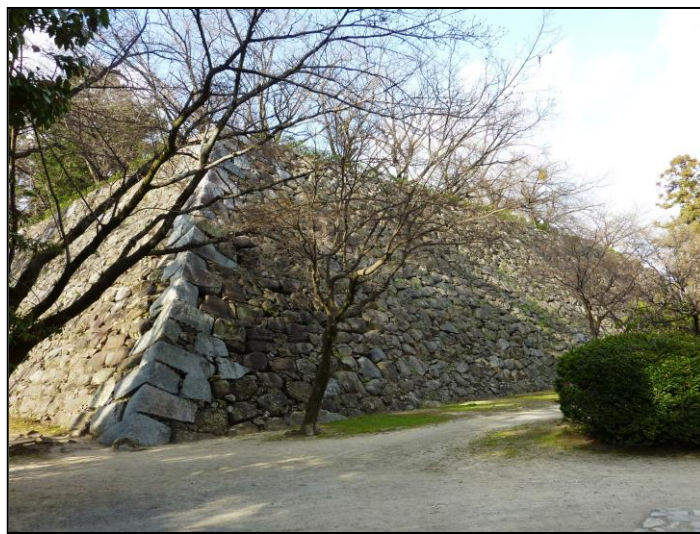
武具櫓



黒田家別邸に移築された本丸武具櫓の古写真



武具櫓跡地



武具櫓下の石垣